

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平化
3. 好意と友情深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2013-2014年度 RI会長
ロン D. バートン

次回例会予定 7月17日 2013-2014年度事業計画発表
7月24日 研究会報告

VOL. 51 No. 2(通算No. 2364)

2013年7月10日(水) 例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

S A A 報告

諸 報 告

幹 事 報 告

会 長 挨 拶

2013-2014年度 事業計画発表



2013-2014 年度 熊谷 昇会長 染谷秀雄幹事

2013-2014年度 会長 熊谷 昇 幹事 染谷 秀雄

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



襷の交換



青木正弘直前会長から熊谷 昇新会長へ



石塚克己直前幹事から染谷秀雄新幹事へ

記念品贈呈



熊谷 昇新会長から青木正弘直前会長へ



染谷秀雄新幹事から石塚克己直前幹事へ

誕生祝



《会員》五木田利明会員 石塚克己会員 島田 勝会員 瀬戸隆海会員
《ご夫人》青木(清)会員 北村(陽)会員

幹事報告 染谷秀雄幹事

週報受理クラブ 藤代RC

例会変更通知 なし

- ・会長経験者の集い……7月17日(水)午後6時から 於:糍屋
- ・常陸大宮ロータリークラブ……平成25年6月28日をもって、解散
- ・地区より……名称変更 新世代奉仕→青少年奉仕(平成25年7月1日より)



本日より幹事という大役を務めさせていただくにあたり一言ご挨拶申し上げます。

私はロータリークラブに入会して14年が過ぎようとしています。今までにいろいろな委員会の委員長を務めさせていただき、そして、一昨年まで地区の新世代奉仕委員会へと出ておりました。

また、青木年度では会計をおおせつかりましたが、この会計はロータリークラブの事業やお金のながれを知るうえで大変勉強になりました。会計を経験した方々からは事務処理や地区への振込など例会終了後にも仕事があり大変だけれどもロータリークラブを今まで以上に知ることができるのでいい経験に

なると言っておられました、確かにその通りでした。

昨年は50周年記念式典を青木正弘会長、鈴木豊実行委員長のものと無事に終えることができました。このことは今まで諸先輩達が築き上げてきた水海道ロータリークラブの友情とチームワークがあって出来たことと思います。

私もこれからは熊谷会長のもと会員の方々と連絡を今まで以上にとり今まで以上に友情を深め、チームワークを維持していきたいと思えます。

会長挨拶 熊谷 昇会長



御挨拶を申し上げます。

2013～14年度、水海道ロータリークラブ第51代目会長を務めさせていただきます。

私が今ここに立ち挨拶ができるのも多くの先輩方のお蔭です。

目の前におられる先輩方、すでに退会され、或いは他界された多くの先輩方…。我々が先輩方から受け継いだ最大の財産、それは「何よりもクラブを大切にする」という「思いやりの精神」ではないでしょうか？

世界は凄まじい速さで変化し続けています。「ロータリークラブにも生き残りを賭けた戦いが始まっている」と言う見方もあります。それに対する受け取り方は人それぞれでしょうが、“学ぶことを怠らず、変化を楽しむ”生き方を選択すれば、未来はきっと希望に満ちたものになると思います。

会員の皆様には、熊谷君でだいじょうぶかなと御心配をいただいているかもしれませんが、与えられた任務を精一杯果たしていこうと思っております。女房役の幹事には染谷秀雄会員を指名させていただきました。私も染谷会員もまだまだ経験が少なく力不足なところが多々あると思えますが、これからの1年を力を併せ、すすめてまいりたいと思っておりますのでどうぞ皆様のご協力をよろしくお願い致します。

さて、本日は創立50周年記念祝賀会のオープニング・プロローグ再度見ていただきました。

見ていただいたのには三つの理由があります。

それは①記念式典・祝賀会の裏方で作業をしていただいた会員の皆様の活動を紹介したかったことです。見ていただいたプロローグは瀬戸会員が大変忙しい中、企画・制作をしていただきました。出席者の皆さんの意識を映像にひきつけ式典のオープニングを飾る良い企画でした。皆さんにはどのように感じられたでしょうか？

司会をしていただいた染谷秀雄・五木田裕一会員にはお二人ともご家族の事情を抱えながらも3-4度にわ

たり司会原稿の突き合わせをお願いしスムーズな進行をしていただきました。

一番難題であった時間の管理も青木前会長・鈴木実行委員長の同席をいただきながら報国寺さんで簡単なリハーサルができたことでおおよその時間配分をイメージができました。

ご来賓のあいさつ時間のみが心配でしたが、原稿用紙2枚程度で済み予定の時間どおりとなりました。

式典・祝賀会会場も 200 人弱の参加者ということで同じ会場内での移動で済みました。当初ホテル側からは、お料理のテーブルへの配膳ができないとのことでしたが、青木総務・大串式典・松村会場副実行委員長の打ち合わせでのこだわりが通じテーブルへの配膳のスタイルになりました。

参加者への記念品の選定には武藤会員に橋渡しをしていただき、地域の二つの障害者福祉施設のご協力をおねがいし、ロータリーらしさが演出できたと思っています。

はじめてソングリーダーを経験していただいた石井会員・まるでホテルのスタッフのように会場内でお客様や会員誘導していただいた鈴木勝久会員・当日お手伝いいただいた石塚克己会員のお嬢さんの美紗さん・受付を担当していただいた会員の皆様など、それぞれの場所でしっかり仕事をしていただいたのだと思います。

また、登坂会員にはツンバ RC との窓口として連絡を取っていただき、来日の際は観光・接待も含めよく面倒を見ていただきました。お手伝いいただいた秋田・石塚利明会員・秋田会員のお嬢さんの雅子さん、皆さんに感謝申し上げるところです。

秋田・北村英明会員には常総市・つくばみらい市への記念事業の実行プログラムを取りまとめていただきました。交渉を取りまとめていただきました。

この 7 月 6 日には植樹をしたつくばみらい市の桜公園の完成セレモニーが行われる予定であります。

当クラブにも招待状を届いており、感謝状をいただけるとのことですのでクラブを代表しいたできてまいります。

②50 周年記念実行委員会が記念誌の作成や記念事業等まだ活動中であります。

現在、五木田利明記念誌委員長がこの間、座談会をはじめ記念誌の企画・構成等準備を進めています。会員の皆様にも個々人の原稿などご協力をいただきながら仕上げの段階に入ってきています。50 年記念誌ということではクラブの歴史の記録をするということはもちろんですが見て・読んで楽しいものを目指すとしています。

写真の選考や紙面構成なども含め編集会議を行い9月末頃の発行を予定しているところです。編集委員会からのお願い等にはしっかりと答えていただきたいとおもいます。

③50 周年記念式典・祝賀会は終了いたしました。会計報告も含め事業全般のきちんとした総括が必要です。できればご参加いただいたご家族の方などからもの全体の印象などもお聞きし今後のクラブのロータリーファミリー活動の参考にすべきと思います。今後は鈴木実行委員長を中心に足掛け 3 年に渡る事業の締めくくりをお願いしたいと思っています。

私なりに感じた総括を述べたいと思います。

2012-2013 年度は青木正弘会長のもと、「これまでの 50 年、これからの 50 年」という方針を示しながら、水海道ロータリークラブの大きな節目を迎えました。青木会長・鈴木豊実行委員長が式典開催のテーマとして掲げたことは、50 年という歴史のなか、水海道ロータリークラブを支えてきた多くの先輩たちへの思い、育んでいただいた地域・支えてくれる家庭・家族へ思い「奉仕の心・感謝の心」を伝えたいとの思いでした。

歴代会長への感謝状をはじめ、常総市・つくばみらい市への3点セットの記念事業、地域ボランティアへの参加呼びかけそして表彰、ご夫人やご家族への招待状など式典プログラムは大変にぎやかなものとなりました。

プロローグでお見せした水海道ロータリークラブの活動の歴史やご家族との思い出の写真、そして歴代会長紹介ということで、初代会長・幹事から第 50 代会長・幹事までの画像はクラブのまさに思いをつなぐ歴史そのものでした。

水海道ロータリークラブの創立 50 周年は、これからの 50 年をスタートさせるにふさわしい式典だったのではないのでしょうか。

そんな思いの詰まった未来へのバトンを受け継ぎ、51年目をスタートしたいと思っています。

次に、具体的なクラブの活動についてお話をさせていただきたいと思います。

まず、初めに2013-14年度RI会長ロンD・バートン氏のメッセージをご紹介します。

今年度のRIテーマは「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」でございます。

今日のロータリークラブの例会風景は、一見して、50年前の例会とは大分様子が違ってきます。

また、34,000あるクラブすべてを訪れれば、様々な経歴を持つ人々が、世界のありとあらゆる言語を話し、地元レベルから国際レベルまで、実に多様な奉仕プロジェクトを行っている姿を目にするでしょう。週末に公園にある遊具を修理しているクラブや、ほかのクラブと協力して何千キロも離れた学校の衛星設備を整えているクラブなど、大小さまざまな方法で、この世界をよりよくするためにロータリアンは活動しています。

今日、ロータリーで目にする多くのことは昔とは違います。しかし、ロータリーの土台は変わっていません。私たちの土台は、これまでと同じように、ロータリーの中核的価値観、すなわち、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです。これらの価値観こそが、ロータリアンとして私たちを定義づけるものです。私たちは、これらの価値観に従って生き地域社会にこれらの価値観を広めようと努力しています。

私達は、推薦され、その推薦を受諾することを選択してロータリーに入会しました。そして、入会した後も、日々、選択を行っています。それは、ロータリーの一会員であるか、真のロータリアンとなるかの、選択です。ロータリアンであるということは、週に1度例会に出席するよりも、ずっと大きな責任です。それは、独特な方法で、世界を見ること、そして、その世界における自分の役割を見ることです。地域社会の問題を自分自身の責任として受け止め、それに基づいて行動し、イニシアチブを発揮し、最善の努力をすること、簡単な道ではなく、最善の道を歩むことを意味します。

私たちは皆、世界をより良くする活動に自ら参加するために、ロータリーに入会しました。

人生におけるあらゆる物事と同じように、ロータリーの奉仕では、努力すればするほど、多くを得ることができます。形だけの努力だけなら、大した成果は上がりませんし、本当の満足は得られないでしょう。しかし、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々生かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるかが見えてくるでしょう。そうして初めて、人々の人生を真に豊かにしようというインスピレーション、やる気、パワーが沸くのです。そして、何よりもあなた自身の人生が豊かになるはずですよ。

2013-14年度のロータリーテーマ、そして私から皆さんへのチャレンジは、「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」です。

皆さんは、ロータリーの襟ピンを身につけることを選択しました。これからどうするかは皆さん次第です。(RIロンD・バートン会長については2013年のロータリーの友3月号に紹介をされています。)

2013-14年度R.I.運営目標は

- 1、ロータリーの重点分野
- 2、R.I.戦略計画ビジョン
- 3、R.I.戦略計画の中核となる価値観
- 4、会員増強

以上4項目となっています。

また長谷川國雄 第2820地区ガバナーはRIテーマに基づき、ロータリーのよりよい未来のための「新しい奉仕活動への挑戦」を地区テーマとして掲げました。具体的な地区目標は

- 1、ロータリー財団の幕開け(未来の夢計画のスタート)。
- 2、会員増強と退会防止
- 3、ポリオ撲滅(アフガニスタン・ナイジェリア・パキスタンの3ヶ国)
- 4、会長賞にチャレンジ

(会員増強の推進・ロータリーファミリーを通じたネットワークの強化)

長谷川ガバナーは80歳と高齢ですが、全クラブを回ってみたいとの意欲も十分であり、公式訪問が10月23日に予定されておりますので楽しみにいただきたいと思います。

今年度のクラブの活動方針については、「みんなできよく考えよう！そして・実践しよう」ということであります。

今まで一年一年積み上げてきたこれまでの50年同様にこれからの50年もまた今年度の RI テーマの実践と第2820地区の具体的目標の達成に向け、活動を進めることとなりますが、会員の皆さんに提案したいことはみんなでよく話し合おうということです

ダーウインの言葉に「最も強いものや賢いものが生き残れるとは限らない。常に変化に対応出来るものが生き残れる。」とあります。

ロータリークラブの活動に疑問点や課題はないのか周年事業は今後どのような形にすべきか、ロータリーの会費の在り方や予算はどうなのかなどなど検討すべき課題の議論をしたいと考えています

意見を交換する機会を設定し今後のクラブの活動に生かしていければと考えていますので皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

また各委員会には これまでの活動に加え・新たな発想での活動を期待したいと思います。

ロータリーの創設者ポール・ハリスの言葉にも「ロータリーは絶えず進歩しなければなりません。時には革命がおこる必要があります。」

過去のやり方にとらわれず、望むべきクラブの未来へ向かって少しずつ歩みを進める事が必要ではないでしょうか。そう考えています。

具体的な数値目標は

- 1、ロータリー財団寄付 150ドル
(ロータリー財団 130ドル、ポリオ・プラス 20ドル)
- 2、ベネファクター 1000ドル 1名
- 3、米山記念奨学金 寄付目標 一人25,000円以上
- 4、にこにこボックス 200万円以上/年
- 5、会員増強 純増1名以上

とさせていただきます。

また各委員会ごとの活動をサポートする意味でワンポイント・メッセージを6月5日のクラブ協議会で各委員長さんをお願いいたしました。

参考にしていただきながら、それぞれの委員会事業を推進していただきたいと思います。

今年度はロータリー財団コーディネイター補佐に北村仁会員、第七分区のガバナー補佐として大塚会員、社会奉仕委員として染谷正美会員、世界社会奉仕委員長に瀬戸会員を地区役員として送り出しております。

地区役員との連携を強化しつつしっかり支えていきましょう。

ロータリーの二つの奉仕理念を今一度かみしめたいと思います。

Service above self 超我の奉仕

He profits most, who serves best 最も良く奉仕する者、最も多く報われる

最後になりますが、なんといっても皆さんの健康が何よりも大事であります。

心と体の健康が一番です。楽しい例会は健康から皆さんのお力をどうぞよろしくお願い致します。

出席報告 石井康弘委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク	出席率
54名	38名	16名	0名	5名	79. 63%

ニコニコボックス 倉持功典委員長 入金計 ¥118,000 累計 ¥118,000

誕生祝御礼《会員》石塚(克)・瀬戸・島田 各会員 《ご夫人》青木(清)会員

2013-14年度がスタート致します。一年間宜しくお願い致します。 熊谷会員

本日より幹事を務めます。宜しくお願いします。 染谷(秀)会員

今年一年宜しくお願いします。 青木(正)・中川 各会員

熊谷・染谷(秀)年度の成功をお祈りしています。がんばってください！！ 石塚(克)会員

IT委員会今年度宜しく。 瀬戸会員
熊谷・染谷年度スタート。体に気をつけて頑張ってください。そして一年間よろしく。 島田会員
熊谷年度楽しみましょう。乞うご期待、親睦活動。 青木(清)会員
青木・石塚(克)会員ご苦労様でした。熊谷・染谷(秀)会長・幹事がんばれ 大塚会員
一年間よろしくお願ひします。 武藤・松村 各会員
熊谷・染谷様、本年度宜しくお願ひ致します。 山野井会員
今年もよろしくお願ひします。 飯塚・染谷(正) 各会員
新会長オメデトウ。 長塚会員
熊谷年度、宜しくお願ひ致します。 小島会員
熊谷・染谷(秀)年度、一年間よろしくお願ひします。 海老原会員
会長・幹事、よろしくお願ひします。 北村(陽)会員
楽しい一年になりますよう、よろしくお願ひします。 秋田会員
本年度もよろしくお願ひ致します。 横山会員
熊谷会長・染谷幹事、一年間お世話になります。 亀崎会員
熊谷・染谷年度のスタートを祝して！ 登坂会員
本年もよろしくお願ひ致します。 雨谷・五木田(裕) 各会員
本年度プログラム委員会をさせていただきます。皆様よろしくお願ひします。 鈴木(勝)会員
熊谷・染谷年度スタートですね。宜しくお願ひします。 古矢会員
今年度も宜しくお願ひ致します。 石井・倉持 各会員
熊谷会長・染谷幹事、一年間宜しくお願ひ致します。 和久事務局
早退します。 染谷(昭)会員

会報委員会 五木田利明委員長 青木清人副委員長

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を



親愛なるロータリアンの皆さん、今はロータリアンであることに大きな喜びを感じる時です。今年度は、私たちがロータリーで今まで経験してきた中で最も素晴らしい年度の一つとなり得ることができます。しかしそれは、私たち一人ひとりにかかっています。

ポリオ撲滅活動を通して学んだこと

私たちは今、ポリオとの闘いにおいて最終章にさしかかっています。長く、険しい道のりでしたが、私たちは多くのかけがえのない教訓を得ました。私たちはグループとして、山をも動かすことができる、人々の暮らしをより良くすることができる、そして、間違いなく私たちは、世界をより良い場所に変えることができる、ということ学びました。おそらく一番の教訓は、私たちが自分たちに多くを課せば課すほど、私たちはより多くのことを達成できるということです。

私たちはまた、ロータリー財団の歴史において、新たな章に入りました。私たちは「未来の夢」という全く新しい補助金制度を開始する、めったにない恩恵を授かりました。「未来の夢」では、自分たちのありとあらゆるリソースを使って、私たちがなす得る最も偉大なことに挑戦する機会を与えられました。より強い財団とロータリーの奉仕に懸命に携わるロータリアンがよりたくさんいる強いクラブがあれば、できることがどれだけ増えるかを考えてみてください。

全会員が真のロータリアンになれば……

私たちが直面している現実の課題は、新会員をロータリーに連れてくればいいというものではないことに気づくことです。今こそ全会員が、真のロータリアンになる節目です。会員がロータリーに参加するのを手助けする、つまり彼らが持っている潜在能力や、ロータリーの奉仕がどれだけ多くの人生を豊かにしているかに気づかせることが課題なのです。一人ひとりの会員が活発に活動し、貢献し、世の中を良くしていることを私たちは確認する必要があります。皆さんがロータリーで意味のある活動をすれば、皆さんにとってロータリーは意味のあるものになります。

私たちがロータリーで達成できることを認識した時、すなわち、私たちがロータリーを真に実践した時、人々の人生は豊かになります。私たちが必要とする人々の人生を私たちは変えます。それは当然のことです。同じように、私たちの人生も変わります。これも必ずそうなります。これが、2013-14年度の私たちのテーマ「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」の一番大切なところです。

ロータリーを通して、私たち一人ひとりの潜在能力に目を向ける時です。ロータリーは私たちをより高め、より多くのことをさせ、自分たち自身以上に大きな存在の一部にさせてくれます。私たちがどれだけロータリーに与えたかにかかわらず、それ以上の恩恵を私たちは得ます。そしてこれも必至なのです。

2013-14年度では、私たちみんなの潜在能力を引き出しましょう。これは自分次第です。ロータリーの奉仕を実践することで、参加することで、やる気を持ち続けることで、そしてロータリーの中に見いだせる贈り物を日々思い出すことで、可能となるのです。私たちは共に「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」実践します。

RON D. BURTON

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2011 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press

ロータリーの友

ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
email hensyu@rotary-no-tomo.jp